

祝 アダウ小中学校のシャワールーム・トイレ改修完了

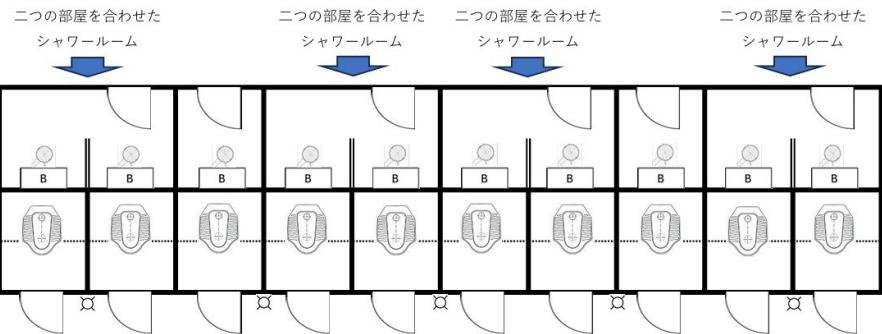
昨年4月のベトナム中部のドネーションツアーがきっかけとなり、ご支援いただきました山奥、クアン・ナム省、タイヤン郡、全校生550人のアダウ小中学校のシャワールームおよびトイレの改修が、昨年8月に完了しました。

こうして、現地の教育環境の改善に、早急に取り組みいただき、4ヶ月あまりで、これほど素敵で素晴らしい支援ができたこと、ご支援金をご寄付いただきました12人の支援者の方々に、心から感謝しております。

ダン(旧アダウ)小中学校の寄宿舎で生活する家の遠い150の子供たちは、これで、真冬でも、温かい水で、シャワーを浴び、髪を洗うことができるようになりました。また、宿直の先生方も、2つの個室のシャワールームを使うことができるようになりました。



ベトナム中部、Quang Nam省、Tay Giang郡、A Dau小中学校シャワールーム・トイレ改修工事



ドア全面交換(鍵付きドア)---新規に16枚

B 電気温水器(20リットル)-----10台

シャワーヘッド-----10個

水道の蛇口--二つのトイレの間に1個、計5カ所

※ シャワールームの床と壁(下部2/3)には、タイルを張り、今回の工事で、二つの部屋を合わせた部屋の中間には、パーティションを取り付けました。建物全体、内部も外部も塗装直しました。



取り付けられた10台の電気温水器



すべてのドアが新しくなったトイレ

ダナン市内の中心地から、西へ200km、車で3時間、ラオスとの国境を背負う、旧タイヤン郡は、10の村々のうち、8つの村々が、外国人の入村が厳しく規制された村々です。2021年8月に、ダナン市内で、タイヤン郡党書記の布林・ミア氏に、友人の紹介で、初めてお目にかかり、彼が自分と同じコトウ族の人々を思う熱心な訴えに応えたく、2つの村の10の集落に、その村人全員が安心して飲める安全な飲料水確保のための大型浄水器を設置したのが、支援の始まりでした。

それから、4年間、大型テレビがないため、IT教材を使えない、それぞれの学校に、計10台の大型テレビ、また、750冊の絵本を支援することができました。昨年4月には、3年経過した10台の大型浄水器すべてのフィルター交換工事も、実施してことができました。

足繁く通えば通うほど、そして、喜び・悲しみ、豊かさと貧しさを知れば知るほど、その共有により「縁」は、深さを増していきます。

今回のドネーションツアーに参加して下さった方々、シャワールームとトイレの改修に、ご理解とご支援をいただきました方々に、改めて感謝を申し上げます。

祝 ラオス・カンペン小学校、追加支援の確認訪問



新旧校舎をつなぐ立派な屋根

一昨年9月23日に、開校式・落成式を開催できたラオス・シエンクアン県、ペック郡ユアン村のカンペン小学校。開校式の訪問で、支援者の太田照子様からご指摘をいただき課題となっていた新旧校舎の通路および新校舎の裏側のトイレへの通路の屋根、さらには、駐輪場の建設が終わり、昨年12月中旬、現地を訪問し、確認作業ならびに贈呈式を無事に実施できました。

シエンクアン空港の工事のため、訪問できず、1年ぶりの訪問でした。現地では、12月19日(金)、モン族の正月のため、学校が休日にもかかわらず、215人の子供たちのうち、150人もの子供たちが、わざわざ集まってくれました。さらに、現地ペック郡のスポーツ教育局の副局長まで、臨席してくださり、贈呈式を開催することができました。



新校舎裏側の屋根のついたトイレへの通路



雨の日には、運動場としても使える100㎡の駐輪場

シンガポールでの講演会とベトナム訪問ツアー

昨年8月のベトナム北部訪問に、シンガポールからの参加者が、お二人加わってくださっております。日本人の芦沢裕子さん、Chew Van Hoong Jasonさんです。そのJasonさんから、11月初旬に、シンガポールを訪問し、講演会を開催し、その参加者などから、ベトナム北部のスタディツアーを計画してほしいという要望が寄せられました。

11月11日(火)の夕方、講演会を開催すると、Jasonさんの友人たちなど、27人が集まってくれました。それに先だって、10日(月)の夕方には、芦沢



タンジョン・パガー駅近くのマーケットのイベント会場を借りて



10年ぶりの英語での講演

さんの紹介で、シンガポール和僑会での講演会も開催されました。

現在、3月14日(土)～19日(木)のシンガポールからのベトナム北部訪問のため、和僑会の方々も数人含めて、参加者募集中です。

3月の訪問では、トゥエン・クアン市の児童養護施設で、訪問者全員で、校門入り口の壁に壁面画の作成も計画されています。



中央が、尽力してくれた Mr. Jason

子供たちの「夢と希望」を育むための 奨学金支援ドネーションツアー

CSRスクエアでは、4年前から、学校の成績がかなり優秀であるにもかかわらず、家庭がとても貧しいため、中学校への進学をあきらめなければならない家庭環境の子供たち（8～10人）に、奨学金支援をする取り組みを続けてきています。

昨年6月からの支援では、子供たちの「夢や希望」をさらに支援するための、支援内容の充実や改善を検討してきました。現地の小中学校には、宿泊を伴う遠足や旅行などはありません。Lam Binh郡は、県庁所在地のTuyen Quang市から145kmも離れています。家も貧しいため、家に車などはありません。そこで、考えたのが、Lam Binh郡からTuyen Quang市までの、奨学金支援の生徒たちと支援者の皆さんと一緒に旅行をする修学旅行です。

1泊2日で、Tuyen Quang市まで行き、レストランでお昼を食べ、市内にあるタンチャオ大学という総合大学を見学させていただき、Lam Binh郡出身で、その大学で学ぶ自分の村の先輩から励ましの言葉をいただき、その後、現在のベトナム独立の父である「ホー・チ・ミン」が、隠れ住んでいたSon Duong郡のタン・チャオ村の史跡である「東屋」を訪問し、自分たちのTuyen Quang省が、現在のベトナムの独立に大切な役割を果たしたことを知り、その後、一部屋に2～3人ずつ、一緒にホテルに宿泊しました。

また、2日目には、Lam Binh郡には無い、「ロッテ・シネマ」と呼ばれる大きな映画館で、アニメなどの映画を鑑賞し、その後、Vin-Mart（現在はWin-Mart）と呼ばれる大きなスーパーマーケットに立ち寄り、家へのお土産の買い物をして昼食を食べ、夕方、帰宅するという修学旅行でした。

奨学金支援生徒であるホンクアン中学校2年のマ・ティ・ハ・ヴィさんは、「この旅を通して、自分たちが住むトゥエンクアン省について、より深く知ることができました。そして、それを自分の夢を追い続けるためのモチベーションにすることができました。私も、将来、支援者の方々や宍戸先生のようになりたいと思っています。少しキャリアを積んだら、宍戸先生のように、今の私と同じような子どもたちを助けるためにLam Binh郡に戻ってきたいと思っています。」と感想を送ってくれました。

さらに、昨年12月末は、奨学生全員が、Lam Binh郡の西の端にあるThuong Lam村の“Tai Ngao”というゲストハウスに集まって一晩泊まって過ごす、合宿生活を体験しました。その際には、支援をいただいている生徒と、日本の支援者の方々とでのOnlineでのインタビューも実現しました。

今回は、日本からは、福島市内の中学校の英語教員である若い女性の先生と、その友人である宮城県の小学校に勤務されている2人の先生、さらに、CSRスクエアユースのメンバーである大学生2人が現地を訪問してくださり、奨学生のインタビューの手伝いもしてくれました。

一日目は、現地の先生方にも手伝っていただき、ベトナムでとても有名な料理であるバイン・チュンをみんなで作り、一晩かけて、大きな鍋で煮て、2日目の朝食に食べました。格別なおいしさでした。

二日目には、少し離れた地域の市場へ行って、ベトナムでは食べられていないカレーライスを作るための材料を買ってきて、日本から持参したカレーのルーを使い、日本人の先生方にリードしていただきながら作り、お昼ご飯に全員で食べました。さらに、料理の合間に、時間をみつけて、トランプや「ウノ」などのカードゲーム、バドミントンやベトナムの「ダーカウ」、けん玉やコマ回し、風船遊びなどを楽しみ、6ヶ月ぶりに会った奨学金支援生徒同士、さらに、日本人のお兄さんやお姉さんなどと交流を深めることができました。

訪問してくださった日本の20代前半の方々にとっても、現地の奨学金支援の生徒たちにとっても、生涯忘れられない貴重な体験と思い出となったようです。



昨年6月のタンチャオ史跡訪問記念写真



自分で作った「バイン・チュン」を手



民芸品店で、少数民族の民族服を着て

6月・8月の活動と山田園様からのご支援



6月、奨学金支援での滝壺探検

現地の学校支援が目的ですので、必ずお土産を持参することになっています。静岡県(株)山田園様からの支援物資がとても役立っています。味付け海苔や手巻き海苔、バームクーヘン、クッキー、かつおふりかけなど、とても喜ばれ、助かっております。

2017年のCSRスクエアの設立から毎年継続して実施してきている春や夏の北部スタディーツアーですが、ほぼ、活動内容が固まってきており、最も人気の高いものは、Na Hang湖でのボートクルーズと左の写真の滝壺でのドクターフィッシュとの出会いであり、また、右上の少数民族ダンスチームのパフォーマンスと交流のようです。



8月、スタディーツアーでのダンス交流



8月訪問での(株)山田園様からの支援物資 (Thuong Lam小学校へ130人分)

ホップタイン小学校と3つの小学校のトイレ建設のさらなる遅延の報告とお詫び



チャンフー小学校の12月の現状

一昨年、皆さまにご提案させていただき、多くの協賛とご支援をいただいておりますトゥエンクアン省、イエンスン郡、ルックハイン村のホップタイン小学校のトイレ建設ですが、省からの建設許可はやっと降りたのですが、財務省の許可や行政再編の影響を受けて、建設工事が遅れております。まだ、着工できない状態が続いています。

最も大きな理由は、行政再編による村の統廃合、さらには、新しい村人民委員会内部での学校の統廃合の問題などが重なったことがあげられます。一時は、ホップタイン小学校が、ルックハイン小学校に統合され、現在の校舎が使われなくなるといった案もあったようですが、それは、免れたようです。

ホップタイン小学校以外にも、日本寄付財団様から支援金を預かっておりますトゥエンクアン市のチャンフー小学校、旧ハムイエン郡のドゥックニン小学校、さらに、旧スンドゥン郡のソンナム小学校も、完成が遅れております。チャンフー小学校とドゥックニン小学校は、建設工事会社の担当者が、昨年、入退院を繰り返していたため、建設工事が遅れました。やっと、今年の1月15日に、「工事が再開した。」との連絡が届きました。また、ソンナム小学校は、日本寄付財団様からお預かりしている予算より大きなトイレを建設するため、その追加予算を確保するため、新しいソントウイ村内部での調整に時間がかかったようです。

何とか、次の会報では、完成の報告ができるよう、現地の行政ならびに建設会社と完成をめざします。



ドゥックニン小学校12月の現状



ソンナム小学校12月の現状

Lam Binh郡、Phai Tre幼稚園への追加支援



昨年7月に、日本寄付財団の関係者の方から、Lam Binh郡の支援の状況を見たいので案内してほしいという要請をいただきました。頭書お二人の訪問予定でしたが、出発数日前になって、お一人の方の都合が悪くなり、お一人だけの訪問となりました。しかし、訪問予定の中心が、日本寄付財団様支援の幼稚園舎やトイレ建設であり、大型遊具2台、中型遊具2台の計4台を寄贈いただけることになっていたので、その遊具の確認もありますので、ご案内させていただきました。



さらに、12月末の訪問では、福島市内の方からの多数のぬいぐるみや、(株)山田園様からのビスケット、味海苔や手巻き海苔など、60家庭分の食品もプレゼントすることができました。

貧しい家庭の子供たちへの多くの支援に、心から感謝しております。

2025年4月～2025年9月の寄付者(敬称略)

北海道 中西 重敏
同 横関 一伸
新潟県 平沼 京子
栃木県 柳 文男
埼玉県 飯田 康博
千葉県 太田 利彦
同 寺田 悦子
同 中込志津子
同 藤原 勝子
同 (有)マインズ
千葉県 光安 輝雄
同 山本 恵子
東京都 Irreplaceable(株)
同 (株)STR
同 (株)Avirity Information
同 大西真由美
同 佐藤麻理子
同 江戸川区立鹿骨東小学校
同 品川女子学院
同 菅原 典彦
同 高橋 雄志
同 (株)78WORKS

東京都 (株)メトリア
神奈川県 松下 伸広
同 宮下 律江
同 大石 孝裕
同 川原 淳
山梨県 (株)フィッシュランド・
イシハラ
静岡県 (株)サカエ
コーポレーション
同 (株)山田園
愛知県 (株)M&A
同 (株)サンアスト
同 (合)社長のミカタ
同 中田 美佳
同 (株)フィールディン
同 牧原 東吾
三重県 村上 晴紀
大阪府 共立運送(株)
同 (株)松原工務店
兵庫県 石原佳代子
同 谷川 亮
島根県 永島 弘明

福島県 内田 安子
同 岡崎 忠昭
同 神岡 祥恵
同 菅野 元一
同 菅野八百合子
同 片野 宗和
同 齋藤 ミネ
同 齋藤 精次
同 穴戸 正幸
同 白和瀬神社
同 常 泉 寺
同 医療法人「生愛会」
同 高信 栄一
同 根本 敏明
同 (株)ハヤシ製作所
同 林 克重
同 匿名希望3名
不 明 サイトウコウタロウ
同 佐藤 正人
同 松本あつこ
以上、44名、19団体、計63

【会報第16号、発行遅延についてのお詫び】

これまで、例年は、年2回の会報の発行を、5月と11月の下旬を目標に発行して参りました。しかしながら、昨年は、11月にシンガポールへの講演出張、12月には、奨学金支援生徒の合宿生活やユースメンバーの訪問案内などの出張が加わり、会報第16号の発行が、今回1月となりました。会報の購読を楽しみにお待ちいただいた方々もおられるとお聞きしております。発行が遅れましたことを、ここにお詫び申し上げます。

次号の発行については、年2回の発行を継続しながらも、その時期については、まだ確定できない状況ですので、ご理解いただければ幸いです。これからも、皆様からの支援と活動の詳細を、しっかりとお伝えできるよう努力して参る所存ですので、引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

【ラジオ番組「お母さん教室～話の広場～」】

8月5日・12日・19日、ラジオ福島での放送



昨年の8月の3回の放送は、共通テーマは、「様々な活動を通じたCSRスクエアの使命への理解とご支援のお願い」であり、第1回目は、「ラオス中北部に完成した、キャンペーン小学校の落成式・開校式訪問の様子と課題」、第2回目は、「4月訪問の2カ所のドネーションツアーと、当団体が本来目指す姿との出会い」、そして、第3回目は、「第7代目タイガーマスクを襲名したキックボクシングの武尊選手とバンドン小学校建設」と題して話させていただきました。録音記録がありますので、お聞ききただけれる場合、CDや音源をお送りできます。

2025年4月～2025年9月の正会員等(敬称略)

寄付者の方々のお名前は、前ページ(p.5)に掲載させていただきました。

◆正会員◆

北海道 柿崎 幸至
同 中西 重敏
同 山本 禎
岩手県 木皿 真人
宮城県 佐藤美奈子
同 佐藤 緑
山形県 菊池 勇棋
新潟県 平沼 京子
富山県 観田 康宏
群馬県 堀口 成美
栃木県 片瀬 英彰
同 田崎 真
埼玉県 太田 光紀
同 香田 寛美
同 近藤 敏
同 近藤 洋子
同 武井 誠
同 久光クニ子
千葉県 青柳 至貞
同 石塚 勝巳
同 池田 浩
同 木村真紀子
同 小林 弘英
同 齋藤 輝峰
同 坂内 美佳
同 杉浦 陽子
同 染谷 登
同 滝沢タカ子
同 土屋 君子
同 鶴巻 美一
同 中山 弘子
同 奈良部 美紗江
同 中込志津子
同 藤原 勝子
同 山本 恵子

千葉県 山田 弘
同 吉田美枝子
東京都 岩崎 保佳
同 太田 照子
同 下司 珠美
同 小島亜衣子
同 佐治 直紀
同 佐藤麻理子
同 佐藤みち子
同 下山 充
同 下山 泰代
同 菅原 典彦
同 菅 仁
同 高橋 雄志
同 田中 里美
同 高見澤浩介
同 葛木 淳二
同 徳永佐智代
同 中田 伸代
同 古庄 司
同 真鍋 秀則
同 宮田 顕
同 柳 裕之
同 吉野 佑
同 吉村 康佑
神奈川県 大石 孝裕
同 黒瀬 忠
同 小林 暉
同 小林みゆき
同 齋藤 修一
同 佐藤 洋平
同 佐藤 純子
同 佐藤 春希
同 白勢 浩一
同 園部 和弘
同 都合美穂子
同 西垣 文男

神奈川県 平井 隆一
同 松下 伸広
同 宮下 律江
同 横谷 進
山梨県 赤澤 奈美
同 石原 弘基
同 奥石 三鈴
静岡県 望月 隆弘
愛知県 鶴飼 正彦
同 佐治 邦彦
同 中田 憲明
同 中田 美佳
三重県 久我 公亮
同 堀 祐輔
同 村上 晴紀
京都府 野村 元哉
大阪府 安達有佳子
同 内田 真美
同 内田 裕仁
同 近藤 良子
兵庫県 石原佳代子
同 内山 浩一
同 柴野 建夫
同 谷川 亮
同 桧垣 拓司
同 三原 直子
同 李 隆吉
鳥取県 中山 隼
島根県 妹尾 由香
和歌山県 中谷 栄作
鹿児島県 梅野 航
福島県 安齋 純子
同 伊東 廣樹
同 大橋 廣治
同 岡崎 忠昭
同 神岡 祥恵
同 柏 正二

福島県 片野 宗和
同 柿沼 孝明
同 菅野 クニ
同 菅野 元一
同 佐藤 貴一
同 齋藤 典子
同 佐藤美保子
同 齋藤 精次
同 齋藤 ミネ
同 齋藤 智之
同 島田 壮
同 高信由美子
同 富山 幸子
同 根本 敏明
同 林 克重
同 福田 文子
同 室井 君男
同 室井 公子
同 山本 和宏
同 吉川 哲也
同 匿名希望1名
以上130名

◆法人会員◆ 3社

東京都 (有)ライフ・
エコロジー
福島県 (株)春光園
同 (株)ハヤシ製作所

◆賛助会員◆ 6名

埼玉県 深野 晃正
東京都 田中紗江里
同 水谷 友裕
同 正能 綾葉
同 Le Thi Uyen
神奈川県 前田 航佑

認定NPO法人 シーエスアールスクエア (CSR²) (輝く学校広場)

Challenge for School Revival & Corporate Social Responsibility

〒960-8136 福島県福島市八島町6-29 TEL 090-2604-4226 FAX 024-533-2612

(ホームページ) <https://csr2.or.jp/>

(facebook) <https://www.facebook.com/Kagayakugakkou>

E-mail: shishido.csr2@gmail.com, shishido@csrsquare.org